

令和2年度(2020年度)用

小学校国語科用

「新しい国語」 年間指導計画作成資料 【6年】

令和2年(2020年)7月16日版

※単元ごとの配當時数、主な学習活動、評価規準などは、今後変更になる可能性があります。ご了承ください。

東京書籍

「新しい国語」(第6学年)年間指導計画

■「評価の観点及びその趣旨」,「学年別の評価の観点の趣旨」の作成について

単元の指導計画・評価計画の作成に当たっては、各学校の実態に応じて目標に準拠した評価を行うために、学習指導要領に示された教科の目標を踏まえた「評価の観点及びその趣旨」と、学年の目標を踏まえた「学年別の観点の趣旨」を作成します。

なお「主体的に学習に取り組む態度」の観点は、教科および学年の目標の(3)のうち、観点別学習状況の評価を通じて見取る部分その内容として整理し、作成します。

小学校国語科の目標と「評価の観点及びその趣旨」

小学校学習指導要領 第2章 第1節 国語「第1 目標」

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)	(2)	(3)
日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。	日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。	言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

評価の観点及びその趣旨<小学校 国語>

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたりしながら、言葉がもつよさを認識しようとしているとともに、言語感覚を養い、言葉をよりよく使おうとしている。

第5学年及び第6学年の目標と「評価の観点の趣旨」

小学校学習指導要領 第2章 第1節 国語「第2 各学年の目標及び内容〔第5学年及び第6学年〕 1 目標」

(1)	(2)	(3)
日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。	言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

評価の観点の趣旨 <小学校 国語> 第5学年及び第6学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたりしながら、言葉がもつよさを認識しようとしているとともに、進んで読書をし、言葉をよりよく使おうとしている。

■評価規準

【知・技】…「知識・技能」の観点および学習指導要領との対応

【思・判・表】…「思考・判断・表現」の観点および学習指導要領との対応

【主】…「主体的に学習に取り組む態度」の観点

※◎は、重点指導事項に対応する評価規準を示す。

※学習指導要領との対応に示した記号は以下の通り。（「◇言語活動」においても同様）

〔知識及び技能〕(1)…言葉の特徴や使い方に関する事項 (2)…情報の扱い方に関する事項 (3)…我が国の言語文化に関する事項

〔思考力・表現力・判断力等〕A…話すこと・聞くこと B…書くこと C…読むこと

単元の指導計画・評価計画案

6年				
月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
4	<p>気持ちよく対話を続けよう</p> <p>2時間(話聞2) 教科書:P.10～11</p>	<p>●相手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、対話を続けていくことができる。</p> <p>◇ふだんの自分たちの対話について考えたことや気になったニュースについて伝え合う。</p> <p>-----</p> <p>1 これまでの学習を振り返り、教科書の例を見て、互いの考えを比較しながら対話を続けるという学習課題を確かめる。</p> <p>2 対話を続ける際に気をつけることについて、考えたことを伝え合う。</p> <p>3 気になったニュースについて対話する。</p> <p>4 対話して気付いたことを伝え合い、学習したことを振り返る。</p>	<p>【知・技】</p> <p>・言葉には、話し手と聞き手の間に好ましい関係を築き、継続させる働きがあることに気づいている。(1)ア</p> <p>【思・判・表】</p> <p>◎「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。A(1)オ</p> <p>【主】</p> <p>・既習事項を確かめて学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、積極的に話の内容を捉え、二人で対話しようとしている。</p>	
4	<p>原因と結果に着目しよう</p> <p>2時間(書2) 教科書:P.12～13</p>	<p>●原因と結果の関係を把握して、目的に応じて書くことができる。</p> <p>◇原因と結果の関係が分かるような文章を書く。B(2)ア</p> <p>-----</p> <p>1 原因と結果の関係を学ぶという学習課題を確かめる。</p> <p>2 教科書の3つの文章を読んで、気づいたことを伝え合う。</p> <p>3 教科書の絵や例を基にして、原因と結果の関係が分かるような文章を書く。</p> <p>4 原因と結果の関係の書き表し方について、学習したことを振り返る。</p>	<p>【知・技】</p> <p>・ある事象がどのような原因によって起きたのかを把握したり明らかにしたりして、原因と結果の関係を見出し、結び付けて捉えている。(2)ア</p> <p>【思・判・表】</p> <p>◎「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりして、考えが伝わるように書き表し方を工夫している。B(1)ウ</p> <p>【主】</p> <p>・既習事項を確かめて学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、積極的に書き表し方を工夫して、文章を書こうとしている。</p>	

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
4	朗読で表現しよう サボテンの花／生きる ・国語のノートの作り方 4時間(読4) 教科書:P.16～29 【言葉の力】 聞き手に伝わるように朗読をする ----- 【既習事項との関連】 聞き手に伝わるように音読をする。(5年「だいじょうぶ だいじょうぶ」)	●自分の感じたことや考えたことが伝わるように朗読することができる。 ◇物語を朗読する。C(2)イ ----- 【つかむ】 1 既習事項を確かめて単元の学習課題をつかみ、学習の見通しを立てる。 【取り組む】 2 「サボテンの花」「生きる」を読み、感じたことや考えたことを伝え合う。 3 朗読する作品を選び、感じたことや考えたことが聞き手に伝わるような朗読の仕方を考える。 【振り返る】 4 感じたことや考えたことを朗読で表現し、単元の学習を振り返る。	【知・技】 ・比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。(1)ク ◎自分が思ったことや考えたことを踏まえて、朗読している。(1)ケ 【思・判・表】 ◎「読むこと」において、物語や詩の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。C(1)エ ・「読むこと」において、作品を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。C(1)オ 【主】 ・学習経験や読書経験を振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って物語や詩の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりして、朗読しようとしている。	
4	図書館へ行くこう 2時間(知技2) 教科書:P.30～33 ----- 【既習事項との関連】 日本十進分類法や、図書館に置かれているさまざまな資料について理解を深める。(5年「図書館へ行くこう」)	●地域の図書館や社会教育施設の使い方を知り、必要なときに活用することができる。 ----- 1 地域の図書館や社会教育施設について知るという学習課題をつかみ、学習の見通しを立てる。 2 さまざまな社会教育施設の特徴や機能を確かめて、学習したことを振り返る。	【知・技】 ◎日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づいている。(3)オ 【主】 ・学習課題に沿って、進んで読書の意義を実感し、図書館や社会教育施設の使い方を知ろうとしている。	・社会科、理科等で、調べる学習を行う際に、図書館の本を用いて調べる。
4	筆者の論の進め方を確かめよう イースター島にはなぜ森林がないのか 7時間(読5書2) 教科書:P.34～45 【言葉の力】 論の進め方をとらえる 【おさえる】 原因と結果 ----- 【既習事項との関連】 要旨を捉える。(5年「動物たちが教えてくれる海の中のくらし」)	●文章の構成や事例を捉え、筆者の論の進め方についての考えをまとめることができる。 ◇筆者の論の進め方について考えたことを話し合ったり文章にまとめたりする。C(2)ア ----- 【つかむ】 1 これまでの学習を振り返って、筆者の論の進め方について考えるという学習課題を明確にし、学習の見通しを立てる。 【取り組む】 2 「イースター島になぜ森林がないのか」を読み、文章の構成と要旨を押さえ、筆者の主張を捉える。 3 イースター島から森林が失われた過程とその原因を読み取りながら、筆者の論の進め方について考える。 4 筆者の論の進め方に対する自分の考えを話し合い、文章にまとめる。 【振り返る】 5 筆者の論の進め方について、どのような点が工夫されていたかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめて、これからの学習に生かしていこうという意識を高める。	【知・技】 ・文章の中から原因と結果の関係を見いだし、結び付けて捉えている。(2)ア 【思・判・表】 ・「読むこと」において、事実と感想、意見などの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。C(1)ア ◎「読むこと」において、書き手は自分の考えをより適切に伝えるために、どのように論を進めているのかということを考えている。C(1)ウ ・「書くこと」において、考えと理由や事例などのつながりや配列を意識して文章の筋道を整えている。B(1)イ 【主】 ・既習事項を振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って粘り強く筆者の論の進め方について考えて、話し合ったり文章にまとめたりしようとしている。	・理科において、原因と結果の関係を考えて、実験の考察を文章にまとめる。 ・学級活動で自分の考えを述べたり提案したりする。 ・書かれているテキストの論じ方を考えながら情報を読み取る。

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価基準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
5	<p>さまざまな熟語</p> <p>2時間(知技2) 教科書:P.46～47</p> <hr/> <p>既習事項との関連 熟語の構成や使い方について理解する。(5年「熟語を使おう」)</p>	<p>●三字以上の熟語の構成について理解することができる。</p> <hr/> <p>1 三字以上の熟語の構成について理解するという学習課題を確かめる。 2 三字熟語の構成と意味を理解する。 3 四字以上の熟語の構成と意味を理解する。 4 学習を振り返り、三字以上の熟語の構成についての理解を確かめる。</p>	<p>【知・技】 ・第6学年までに配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)エ ◎漢字の特質などについて理解している。(3)ウ</p> <p>【主】 ・学習課題に沿って、積極的に漢字の特質などを理解しようとしている。</p>	
5	<p>友達の意見を聞いて考えよう</p> <p>4時間(話聞4) 教科書:P.48～51</p> <hr/> <p>【言葉の力】 話し手の考えと自分の考えを比べる</p> <hr/> <p>既習事項との関連 意図を明確にして聞く。(5年「知りたいことを聞き出そう」)</p>	<p>●他の人の意見と自分の意見を比較して、自分の考えをまとめることができる。 ◇メディアの使い方に関する質問について、友達の意見を聞いて考える。A(2)イ</p> <hr/> <p>つかむ 1 これまでの学習を振り返って、話し手の考えと自分の考えを比べて聞くという学習課題を確かめ、学習の見通しを立てる。</p> <p>取り組む 2 教科書に挙げられている三つのメディアについて考え、自分の意見と理由を確かめて話を聞くポイントを明確にする。教科書P.50の話をもとに自分の意見と比較しながら聞く。 3 友達と意見を聞き合い、メモを取る。メモをもとに共通点や相違点等を考える。</p> <p>振り返る 4 他人の意見を聞き、それを自分の考えにどう生かしたかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめ、これからの学習に生かそうという意識を高める。</p>	<p>【知・技】 ・複雑な事柄を分解して捉えたり、類似する点を基にして、他のことを類推したりして情報と情報を関係付けている。(2)イ</p> <p>【思・判・表】 ◎「話すこと・聞くこと」において、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。A(1)エ</p> <p>【主】 ・経験や既習事項を想起して学習課題を確かめて、単元の学習の見通しを持って、積極的に話の内容を捉えて自分の考えと比較し、自分の考えをまとめようとしている。</p>	<p>・理科において、実験結果の予想を話し合う。 ・児童会の時間での話し合いの際、発言を関係付け、整理したうえで自分の考えを持つ。</p>
6	<p>防災ポスターを作ろう</p> <p>7時間(書7) 教科書:P.52～57</p> <hr/> <p>【言葉の力】 表現の効果を考えて報告する</p> <p>【おさえる】 図表やグラフを使う</p> <hr/> <p>既習事項との関連 資料を活用して報告する。(5年「環境問題について報告しよう」)</p>	<p>●読み手の興味を引くような表現の効果を考え、書き表し方を工夫することができる。 ◇資料を用いて防災を呼びかけるポスターを作る。B(2)ア</p> <hr/> <p>つかむ 1 これまでの学習を振り返って、表現の効果を考え、書き表し方を工夫するという学習課題を明確にし、見通しを立てる。</p> <p>取り組む 2 調べるテーマと分担を決めて情報を集める。 3 集めた情報を整理する。 4 どのように情報を配置するのかを考え、ポスターの割り付けを考える。 5 割り付けを基に、キャッチコピーや見出しを考えてポスターにまとめる。 6 完成したポスターを読み合う。</p> <p>振り返る 7 どのような点に気をつけてポスターを作ったかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめて、これからの学習や生活に生かそうという意識を高める。</p>	<p>【知・技】 ・情報と情報との関係付けの仕方を理解し、使っている。(2)イ</p> <p>【思・判・表】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、書くことを選び、集めた情報を整理し、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア ◎「書くこと」において、図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。B(1)エ</p> <p>【主】 ・これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って粘り強く書き表し方を工夫して、ポスターを作ろうとしている。</p>	<p>・社会科で、政治について調べたことをポスターで発表する。 ・保健で、病気の予防について調べたことをまとめる。 ・図鑑や本などから情報を得る。</p>

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
6	<p>人物どうしの関係を考えよう 風切るつばさ</p> <p>7時間(読5書2) 教科書:P.58～68</p> <p>【言葉の力】 人物の関係と心情の変化をとらえる</p> <p>-----</p> <p>【既習事項との関連】 人物像を想像する。(5年「大造じいさんとがん」)</p>	<p>●人物どうしの関係を手がかりに、人物の心情を考えながら読むことができる。 ◇物語を読み、考えたことを伝え合う。C(2)イ</p> <p>-----</p> <p>【つかむ】</p> <p>1 既習事項を振り返って、人物の関係と心情の変化を捉えるという学習課題を明確にし、学習の見通しを立てる。</p> <p>【取り組む】</p> <p>2 「風切るつばさ」を読み、物語の出来事を押さえ、人物どうしの関係を捉える。</p> <p>3 人物どうしの関係を踏まえながら、クルルとカララの心情とその変化について考える。</p> <p>【振り返る】</p> <p>4 人物の心情の変化について気づいたことを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめる。</p>	<p>【知・技】</p> <p>・図示することによって情報を整理することを理解し使っている。(2)イ</p> <p>【思・判・表】</p> <p>◎「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。C(1)イ</p> <p>・「読むこと」において、登場人物の人物像を具体的に想像している。C(1)エ</p> <p>・「書くこと」において、自分の考えが伝わるように、事実と感想や考えとを区別して書いている。B(1)ウ</p> <p>【主】</p> <p>・学習経験や読書経験を振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、進んで登場人物の相互関係や心情などを捉えて、考えたことを伝え合おうとしている。</p>	
6	<p>複合語 ・ことばあつめ</p> <p>2時間(知技2)</p> <p>教科書:P.70～73</p> <p>-----</p> <p>【既習事項との関連】 和語・漢語・外来語について理解する。(5年「和語、漢語、外来語」)</p>	<p>●複合語の構成と特徴について理解することができる。</p> <p>-----</p> <p>1 複合語の構成と特徴について理解するという学習課題を確かめる。</p> <p>2 さまざまな言葉の組み合わせの例や複合語の特徴を知る。</p> <p>3 身の回りから複合語を探す。</p> <p>4 複合語の特徴や、複合語を使うよさについて考えて、学習したことを振り返る。</p>	<p>【知・技】</p> <p>◎語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。(1)オ</p> <p>【主】</p> <p>・学習課題に沿って、積極的に複合語について理解し、語彙を豊かにしようとしている。</p>	
6	<p>インターネットの議論を考えよう インターネットの投稿を読み比べよう</p> <p>7時間(読5書2) 教科書:P.74～85</p> <p>【言葉の力】 説得のくふうを読み取る</p> <p>-----</p> <p>【既習事項との関連】 多角的にとらえる。(5年「『弱いロボット』だからできること」)</p>	<p>●複数の文章を読み比べて、それぞれの説得の工夫を読み取ることができる。 ◇インターネットの投稿を読み比べて、説得の工夫を考える。C(2)ア</p> <p>-----</p> <p>【つかむ】</p> <p>1 これまでに学習したことやインターネットにまつわる自分の経験や知識を振り返り、説得の工夫を読み取るという学習課題を明確にして、見通しを立てる。</p> <p>【取り組む】</p> <p>2 投稿 1～11 を読み比べて、書き手の意見や主張、説得の工夫や効果について考える。</p> <p>3 読み手を説得するための工夫やさまざまな表現の効果について考え、自分の意見を文章にまとめる。</p> <p>【振り返る】</p> <p>4 それぞれの投稿の説得の工夫をどうやって読み取ったかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめ、普段の日常生活の中に生かそうという意識を高める。</p>	<p>【知・技】</p> <p>・さまざまな表現の工夫に気づいている。(1)ク</p> <p>・情報と情報との関係付けの仕方を理解し使っている。(2)イ</p> <p>【思・判・表】</p> <p>◎「読むこと」において、書き手は自分の考えをより適切に伝えるために、どのような理由や事例を用いることで説得力を高めようとしているのかについて考えている。C(1)ウ</p> <p>・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。C(1)オ</p> <p>・「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。B(1)ウ</p> <p>【主】</p> <p>・これまでに学習したことや経験を振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、積極的に説得の工夫について考えて、文章を読み比べようとしている。</p>	<p>・社会科で新聞の投書や社説を読む。</p> <p>・情報を比較する。</p> <p>・インターネットを主とした情報社会に参画する態度を養う。</p>

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
7	本は友達 2時間(知技2) 教科書:P.86～93	●読書の意義を知り、自分の興味に応じた本を選んで読むことができる。 ----- 1 読みたい本を探して読むという学習課題を確かめる。 2 「六年生の本だな」や、P.86・87・92で紹介している本などを手がかりにして、読みたい本を探して読む。 3 自分の興味に応じてどのように本を選んで読むことができるのかを振り返り、これからの学習や年間を通した読書活動に生かしていく意識を高める。	【知・技】 ◎日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づいている。(3)オ 【主】 ・学習課題に沿って、進んで幅広く読書に親しみ、多様な本を読もうとしている。	・生活の中の読書に生かす。 ・学級活動や道徳で学校図書館を活用する。 ・主体的に学校図書館や他の公共施設を活用する。
9	詩を読もう いま始まる新しいいま 1時間(読1) 教科書:P.96～97 ----- 既習事項との関連 場面の様子や人物の気持ちを想像しながら、詩を音読する。(5年「紙風船／水のこころ」)	●詩を読み味わい、感じたことや考えたことを友達と伝え合い、自分の考えをまとめることができる。 ◇詩を音読する。C(2)イ ----- 1 詩を読んで感じたことや考えたことを伝え合うという学習課題を確かめる。 2 詩の構成や表現に着目し、詩に描かれている情景や作者の思いについて考え、友達と伝え合う。 3 友達と互いの考えを伝え合い、話し合っ考えたことを基に、詩を音読する。 4 どのような表現からどのようなことを感じたり考えたりしたかを振り返る。	【知・技】 ・比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。(1)ク ・声の大きさや抑揚、速さや間の取り方などの技能を生かして音読している。(1)ケ 【思・判・表】 ◎「読むこと」において、詩を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。C(1)オ ・「読むこと」において、詩を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。C(1)カ 【主】 ・これまでに読んできた詩や経験を振り返って学習課題を明確にし、他の児童と意見を交換して自分の考えを深め、詩を音読しようとしている。	
9	話し合っ考えを深めよう ・生活の中の言葉 6時間(話聞6) 教科書:P.98～107 【言葉の力】 立場を明確にしなが話し合う ----- 既習事項との関連 ・話し手の考えと自分の考えを比べる。(6年「友達の意見を聞いて考えよう」) ・意図を明確にしなが計画的に話し合う。(5年「問題を解決するために話し合おう」)	●互いの意見を分類したり整理したりして、計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。 ◇身の回りの言葉に関する話題について、異なる立場の人と話し合う。A(2)ウ ----- つかむ 1 これまでの学習や話し合いの経験を振り返って、立場を明確にして話し合うという学習課題を確かめ、学習の見通しを立てる。 取り組む 2 話題を選び、自分の立場を決める。 3 話し合いの計画を立て、役割ごとの留意点を整理する。 4 話し合いの計画に沿って、選んだ話題について話し合う。 振り返る 5 単元の学習を振り返り、身につけた「言葉の力」について確かめる。	【知・技】 ・話し言葉と書き言葉の違いに気づいている。(1)イ ・情報と情報の関係付けの仕方について理解し使っている。(2)イ 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめている。A(1)エ ◎「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしなが計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。A(1)オ 【主】 ・これまでの学習や経験を振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、粘り強く計画的に話し合い、考えを広げたりまとめようとしている。	・総合的な学習の時間における、さまざまな立場からの話し合い。

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
9	<p>場面に応じた言葉づかい ・言葉は変わる</p> <p>3時間(知技3) 教科書:P.108～111</p> <p>-----</p> <p>既習事項との関連 敬語の役割や種類を知り、 場面に応じた適切な使い方を 理解する。(5年「敬語の使 い方」)</p>	<p>●相手や場面に応じた言葉遣いを理解し、適 した言葉を選んで使うことができる。</p> <p>-----</p> <p>1 場面に応じた言葉遣いについて考えるとい う学習課題を確かめる。 2 場面に応じてどのような言い方をすればよ いか考えながら言葉を使い分け、そのよさを 確かめる。 3 学習を振り返り、相手や場面に応じた言 葉遣いについて理解したことを確かめる。</p>	<p>【知・技】 ◎日常よく使われる敬語を理解し使い慣 れている。(1)キ ・時間の経過による言葉の変化や世代 による言葉の違いに気づいている。 (3)ウ 【主】 ・ふだんの言葉遣いを振り返って学習課 題を確かめ、進んで敬語を理解し使い 慣れようとしている。</p>	
9	<p>物語を読んで、考えたこ とを伝え合おう 海のいのち</p> <p>10時間(読8書2) 教科書:P.112～127</p> <p>【言葉の力】 物語が自分に最も強く語りか けてきたことを考える</p> <p>-----</p> <p>既習事項との関連 人物の関係と心情の変化を とらえる。(6年「風切るつば さ」)</p>	<p>●物語が自分に最も強く語りかけてきたことを 考え、考えたことを文章にまとめることがで きる。 ◇物語を読み、考えたことを伝え合う。C(2)イ</p> <p>-----</p> <p>つかむ 1 既習事項を振り返って、物語が最も強く語 りかけてきたことを考えるという学習課題を 確かめて、学習の見通しを立てる。 取り組む 2 「海のいのち」を読み、物語で起こる出来 事と中心人物の変化について考える。 3 物語が自分に最も強く語りかけてきたこと を短い言葉でまとめ、伝え合う。 振り返る 4 物語が自分に最も強く語りかけてきたこと がどんなものだったかを振り返り、身につ けた「言葉の力」を確かめる。</p>	<p>【知・技】 ・読者として自分が思ったことや考えたこ とを踏まえ、表現性を高めて朗読してい る。(1)ケ 【思・判・表】 ・「読むこと」において、人物像や物語の 全体像を具体的に想像したり、表現の 効果を考えたりしている。C(1)エ ◎「読むこと」において、文章を読んで理 解したことに基づいて自分の考えをまと めている。C(1)オ ・「書くこと」において、事実と感想、意見 とを区別して書いているなど、自分の考 えが伝わるように書き表し方を工夫して いる。B(1)ウ 【主】 ・学習経験や読書経験を振り返って学習 課題を確かめ、学習の見通しを持っ て、粘り強く文章を読んで理解したこと に基づいて自分の考えをまとめ、伝え 合おうとしている。</p>	
10	<p>漢文に親しむ ・日本の文字</p> <p>3時間(書3) 教科書:P.128～133</p> <p>-----</p> <p>既習事項との関連 古文の響きを味わう。(5年 「古文に親しもう」)</p>	<p>●漢文を音読し、言葉の響きやリズムなどに 親しむことができる。 ◇漢文を読んで感じたことや考えたことを文章 にまとめる。</p> <p>-----</p> <p>1 漢文を音読し、その言葉の響きやリズムに 親しむという学習課題を確かめる。 2 教科書に取り上げられている漢文を音読 し、言葉の響きやリズムを味わい、漢文に ついて知る。 3 好きな漢文の一つを選び、選んだ理由や 気に入っているところを文章にまとめる。 4 漢文の言葉の響きやリズムについて、学 習したことを振り返る。</p>	<p>【知・技】 ◎親しみやすい漢文を音読し、言葉の 響きやリズムに親しんでいる。(3)ア ・仮名及び漢字の由来、特質などについ て理解している。(3)ウ 【思・判・表】 ・「書くこと」において、感じたことや考え たことから書くことを選び、伝えたいこと を明確にしている。B(1)ア 【主】 ・これまでに学習したことを振り返って学 習課題を明確にし、積極的に漢文の言 葉の響きやリズムに親しみ、感じたこと や考えたことを文章にまとめようとして いる。</p>	

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
10	<p>文と文とのつながり</p> <p>2時間(知技2)</p> <p>教科書:P.134～137</p> <hr/> <p>既習事項との関連</p> <p>文の構成を理解する。(5年「文の組み立てをとらえよう」)</p>	<p>●接続語句や文末表現などに注目し、文と文との接続の関係を捉えることができる。</p> <hr/> <ol style="list-style-type: none"> これまでの経験や学習を想起し、文と文との接続の関係について考えるという学習課題を確かめる。 意味を分かりやすくするための文と文とのつなげ方の工夫を知る。 これまでに学んだ教材文から、つなげ方の工夫を見つけ、ノートにまとめる。 文と文とのつながりについて気をつけることをまとめ、学習したことを振り返る。 	<p>【知・技】</p> <p>◎文と文との接続の関係について理解している。(1)カ</p> <p>【主】</p> <p>・学習課題を確かめ、粘り強く文と文との関係について理解しようとしている。</p>	
10	<p>町の未来をえがこう</p> <p>町の幸福論——コミュニ ティデザインを考える</p> <p>・情報を活用するときに 気をつけよう</p> <p>13時間(読8話聞5)</p> <p>教科書:P.138～157</p> <p>【言葉の力】</p> <p>・情報を関係付けて活用する</p> <p>・プレゼンテーションをする</p> <hr/> <p>既習事項との関連</p> <p>・論の進め方をとらえる。(6年「イースター島にはなぜ森林がないのか」)</p> <p>・図表やグラフを使う。(6年「防災ポスターを作ろう」)</p>	<p>●複数の資料を読み、必要な情報を関係付けながら、それらを目的に応じて活用することができる。</p> <p>●自分の考えを伝えるために、構成を工夫したり資料を活用したりするなどの工夫をして発表することができる。</p> <p>◇資料を基に自分たちの町の未来について考え、プレゼンテーションをする。</p> <p>A(2)ア, C(2)ウ</p> <hr/> <p>つかむ</p> <ol style="list-style-type: none"> これまでの学習や経験を振り返って、自分たちの町の未来について考えるという学習課題を確かめ、学習の見通しを立てる。 <p>取り組む</p> <ol style="list-style-type: none"> 「町の幸福論」を読んで、自分たちの町について考える。 町づくりについて調べて、提案を考える。 プレゼンテーションを発表し合い、意見を交流する。 <p>振り返る</p> <ol style="list-style-type: none"> 読み取ったことをもとに、構成を工夫したり資料を効果的に活用したりするなどの工夫をしてプレゼンテーションを行うことができたかを振り返る。 	<p>【知・技】</p> <p>・情報と情報の関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。(2)イ</p> <p>【思・判・表】</p> <p>・「話すこと・聞くこと」において、目的に応じて、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討している。A(1)ア</p> <p>◎「話すこと・聞くこと」において、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫している。A(1)ウ</p> <p>◎「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりしている。C(1)ウ</p> <p>・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分たちの考えを広げている。C(1)カ</p> <p>【主】</p> <p>・これまでの学習や経験を振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、粘り強く必要な情報を見つけたり、積極的に表現を工夫したりしながら、町の未来について考えたことをプレゼンテーションしようとしている。</p>	<p>・社会科で、住民の願いを実現している町づくりについて調べる。</p> <p>・総合的な学習の時間での発表。</p> <p>・さまざまなメディアを使い、複数の情報を関係付けて考える。</p>

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
11	<p>世界に目を向けて意見文を書こう</p> <p>・目的や意図に応じた書き方</p> <p>7時間(書7)</p> <p>教科書: P.158～165</p> <p>【言葉の力】 説得力のある意見文を書く</p> <hr/> <p>【既習事項との関連】 表現の効果を考えて報告する。(6年「防災ポスターを作ろう」)</p>	<p>●事実と感想, 意見を区別して書き, 説得力を持つように書き表し方の工夫をして文章を書くことができる。</p> <p>◇児童労働やフェアトレードに対する自分の考えを意見文にまとめる。B(2)ア</p> <hr/> <p>【つかむ】</p> <p>1 これまでの学習を振り返って, 説得力のある意見文を書くにはどのような工夫ができるかという学習課題を明確にし, 学習の見通しを立てる。</p> <p>【取り組む】</p> <p>2 説得力のある意見文を書くうえでの, 書き表し方の工夫に気づく。</p> <p>3 フェアトレードに関する情報を収集し, フェアトレードについての考えを深める。</p> <p>4 主張を考え, 効果的な資料の活用や構成を意識して, 論の組み立てを考える。</p> <p>5 資料を効果的に活用して意見文を書く。</p> <p>【振り返る】</p> <p>6 どのような工夫をして意見文を書いたかを振り返って, 身につけた「言葉の力」がどんな場面に役立つかを考え, これからの学習に生かそうという意識を高める。</p>	<p>【知・技】</p> <p>・思考に関わる語句の量を増し, 話や文章の中で使っている。(1)オ</p> <p>・原因と結果など情報と情報との関係について理解している。(2)ア</p> <p>【思・判・表】</p> <p>・「書くこと」において, 筋道の通った文章となるように, 文章全体の構成や展開を考えている。B(1)イ</p> <p>◎「書くこと」において, 目的や意図に応じて, 事実と感想, 意見を区別して書き, 自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。B(1)ウ</p> <p>・「書くこと」において, 資料を引用したり図表やグラフを用いたりして, 書き表し方を工夫している。B(1)エ</p> <p>【主】</p> <p>・これまで学習したことや経験を振り返って学習課題を明確にし, 粘り強く自分の考えが伝わるような書き表し方の工夫を考えて, 意見文を書こうとしている。</p>	<p>・社会科で, 現代社会のさまざまな課題についての意見を述べる。</p> <p>・資料を活用して考えを述べる。</p>
11	<p>関連する作品を読んで、 すいせんしよう ヒロシマのうた</p> <p>8時間(読6書2)</p> <p>教科書:P.166～189</p> <p>【言葉の力】 関連付けて読む</p> <hr/> <p>【既習事項との関連】 本と本とのつながりを見つける。(5年「友達といっしょに, 本をしょうかいしよう」)</p>	<p>●戦争や平和について書かれた作品を読み, それらを関連付けて自分の考えを深めることができる。</p> <p>◇複数の作品を読み, 推薦のためのカードを書いて内容を説明したり, 考えたことを伝え合ったりする。C(2)イ</p> <hr/> <p>【つかむ】</p> <p>1 既習事項やこれまでの読書経験を想起して, 複数の作品を関連付けて読むという学習課題を明確にして, 学習の見通しを立てる。</p> <p>【取り組む】</p> <p>2 「ヒロシマのうた」とともに, 戦争と平和をテーマにしたほかの作品を, 並行して読んでいく。</p> <p>3 読んだ作品から推薦したいものを選び, 「すいせんカード」を書いて紹介する。</p> <p>【振り返る】</p> <p>4 「ヒロシマのうた」と他の作品を関連付けて読んでどのようなことを思ったり考えたりしたかを振り返り, 身につけた「言葉の力」を確かめる。</p>	<p>【知・技】</p> <p>・読書が, 自分の考えを広げることに役立つことに気づいている。(3)オ</p> <p>【思・判・表】</p> <p>・「読むこと」において, 物語の全体像を具体的に想像したり, 表現の効果を考えたりしている。C(1)エ</p> <p>◎「読むこと」において, 文章を読んでまとめた意見や感想を共有し, 自分の考えを広げている。C(1)カ</p> <p>・「書くこと」において, 本や文章などから引用して, 自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。B(1)エ</p> <p>【主】</p> <p>・これまでの学習経験や読書経験を振り返って学習課題を明確にし, 積極的に文章を読んでまとめた意見や感想を共有して, 自分の考えを広げようとしている。</p>	<p>・社会科で, 戦争と人々の暮らしについて考える。</p>

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
12	<p>読書とわたし</p> <p>2時間(読2) 教科書:P.190～193</p> <p>【言葉の力】 読書生活を豊かにする</p> <hr/> <p>【既習事項との関連】 物語が自分に最も強く語りかけてきたことを考える。(6年「海のいのち」)</p>	<p>●これまでの読書生活を振り返り、自分と読書との関係を捉え直し、読書生活を豊かにすることができる。</p> <p>◇自分にとって大切な一冊について友達と伝え合う。</p> <hr/> <p>つかむ</p> <p>1 これまでの読書生活を振り返って、本や読書と自分との関わりを考えるという学習課題を明確にする。</p> <p>取り組む</p> <p>2 自分と本との関わり方を振り返り、自分にとっての「大切な一冊」を決める。</p> <p>3 「大切な一冊」と、それを選んだ理由について、友達と伝え合う。</p> <p>振り返る</p> <p>4 単元の学習を振り返って身についた「言葉の力」を確かめ、これからの読書生活に生かしていこうという意識を高める。</p>	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常的に読書に親しみ、読書の意義をより強く実感している。(3)オ <p>【思・判・表】</p> <p>◎「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。C(1)カ</p> <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの読書生活を振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って積極的に意見や感想を共有し、自分の考えを広げようとしている。 	
1	<p>いにしえの言葉に学ぶ</p> <p>3時間(書3) 教科書:P.196～201</p> <hr/> <p>【既習事項との関連】 昔の人のものの見方や考え方を知る。(5年「古文のえがく四季」)</p>	<p>●昔の人のものの見方や考え方を知り、それを、現代に生きる自分たちと結び付けて考えることができる。</p> <p>◇これまでに出会った昔の人の言葉から、最も心に残ったものを選んで文章を書く。 B(2)ウ</p> <hr/> <p>1 昔の人のものの見方や考え方を知るという学習課題をつかみ、学習の見通しを立てる。</p> <p>2 「昔の人からの手紙」と教科書に挙げられている古典の名言を読み、昔の人のものの見方や考え方と、現代の自分たちとの関係を考える。</p> <p>3 心に残った古典の名言を選び、自分の経験や知識と結び付けて文章にまとめる。</p> <p>4 昔の人のものの見方や考え方からどのようなことを考えたかを確かめ、学習を振り返る。</p>	<p>【知・技】</p> <p>◎古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を捉えている。(3)イ</p> <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、自分の考えたことが伝わるように、文章全体の構成や展開を考えている。B(1)イ <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習課題に沿って見通しを持ち、進んで昔の人のものの見方を捉えようとしている。 	
1	<p>表現をくふうする</p> <p>・ことばあつめ</p> <p>2時間(知技2) 教科書:P.202～204</p>	<p>●比喩や反復、倒置などの表現の工夫について理解することができる。</p> <hr/> <p>1 様々な表現の工夫について考えるという学習課題を確かめる。</p> <p>2 表現の仕方の違いと効果を知る。</p> <p>3 学んだ表現の仕方をういて、これまでに自分が書いた文章を書き直す。</p> <p>4 表現の工夫の仕方やその効果について学んだことまとめ、学習を振り返る。</p>	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識しながら、語や語句を使っている。(1)オ <p>◎比喩や反復、倒置などの表現の工夫に気付いている。(1)ク</p> <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習課題にそって粘り強く、表現の工夫について理解しようとしている。 	

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
1	<p>心が動いたことを十七音で表そう</p> <p>4時間(書4) 教科書:P.206～209</p> <p>【言葉の力】 発見や感動を俳句で表す</p> <hr/> <p>【既習事項との関連】 発見や感動を短歌で表す。(5年「心が動いたことを三十一音で表そう」)</p>	<p>●生活の中から題材を選び、言葉の選択や順序を工夫して、発見や感動を俳句で表すことができる。</p> <p>◇心が動いたことを俳句で表す。B(2)イ</p> <hr/> <p>つかむ</p> <p>1 これまでの学習や生活を振り返り、言葉を吟味し俳句を作るという学習課題を明確にし、学習の見通しを立てる。</p> <p>取り組む</p> <p>2 季節を感じる言葉などから連想を広げ、題材を集める。</p> <p>3 集めた題材を基に、表現を工夫して俳句を作る。</p> <p>4 書いた俳句を読み合い、表現のよさや工夫を見つけて共有する。</p> <p>振り返る</p> <p>5 どのような表現の工夫をして俳句を作ったかを振り返り、身についた「言葉の力」を確かめる。</p>	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(1)オ <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいる。B(1)ア ◎「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。B(1)オ ・「書くこと」において、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。B(1)カ <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習や経験を振り返って学習課題を明確にし、粘り強く言葉の選択や順序を工夫して、俳句を作ろうとしている。 	
1	<p>さまざまな生き方について考えよう</p> <p>プロフェッショナルたち</p> <p>8時間(読6書2) 教科書:P.210～225</p> <p>【言葉の力】 文章を読み、考えを広げたり深めたりする</p> <hr/> <p>【既習事項との関連】 多角的にとらえる。(5年『弱いロボット』だからできること)</p>	<p>●文章を読んで、そこに書かれた人物の生き方や考え方から、自分の将来や生き方について考えることができる。</p> <p>◇教材文を読み、自分の考える「プロフェッショナル」について文章にまとめる。C(2)ア</p> <hr/> <p>つかむ</p> <p>1 文章に挙げられているプロフェッショナルの生き方から自分の将来や生き方について考えるという学習課題を明確にし、学習の見通しを立てる。</p> <p>取り組む</p> <p>2 「プロフェッショナルたち」を読んで、3人のプロフェッショナルたちについて書かれていることを整理する。</p> <p>3 3人のプロフェッショナルたちが、それぞれどんな思いや考えを持って仕事に取り組んでいるかについて考える。</p> <p>4 3人の考え方や行動を比べたり、自分はどうな「プロフェッショナル」になりたいか考えたりして、自分が考える「プロフェッショナル」について文章にまとめる。</p> <p>振り返る</p> <p>5 文章を読んだことからどのように自分の考えを広げたり深めたりしたのかを振り返り、身についた「言葉の力」を確かめて、日常生活の中で生かす意識を高める。</p>	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、使っている。(2)イ <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。C(1)オ ◎「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。C(1)カ ・「書くこと」において、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。B(1)ウ <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、粘り強く自分の考えを広げて深めながら、文章を読もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳科で、働くということについて、互いの意見を話し合う。 ・自分の考えを広げるために、情報を吟味する。

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
2	<p>言葉の学習をふり返る</p> <p>4時間(書4) 教科書:P.226～230</p> <hr/> <p>既習事項との関連</p> <ul style="list-style-type: none"> 文の接続語句や文末表現。(6年「文と文とのつながり」) 比喩や繰り返しなどの表現の工夫。(6年「表現をくふうする」) 	<p>●これまでの言葉の学習を確かめながら、よりよい表現の工夫について考えて、活用することができる。</p> <p>◇これまでの学習を振り返りながら、表現を工夫して文章を書く。</p> <hr/> <ol style="list-style-type: none"> これまでの学習を振り返って、よりよい表現の工夫について考えて活用するという学習課題を明確にし、学習の見通しを立てる。 文の組み立てやつながりを分かりやすくする観点を確かめる。 文や文章全体を分かりやすく書く観点を確かめる。 自分の好きな物事のよさを伝える文章を書いて読み合う。 どのような表現の工夫が、どんなときに生かせるのかを振り返って、これからの学習や生活に生かしていく意識を高める。 	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。(1)ア 文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開を理解している。(1)カ <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。B(1)イ ・「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。B(1)オ <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習してきたことを確かめながら学習課題を明確にし、進んで文章全体の構成や展開を考えながら文書を書こうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会科で、調べたことをもとに、自分の考えを書く。
2	<p>「卒業文集」を作ろう</p> <p>5時間(書5) 教科書:P.232～237</p> <p>【言葉の力】 思いを伝える文章を書く</p> <hr/> <p>既習事項との関連</p> <p>文章のよさを見つけて生かす。(5年『わたしの文章見本帳』を作ろう)</p>	<p>●小学校6年間の経験を振り返り、伝えたい思いや考えを文章にまとめることができる。</p> <p>◇6年間の経験から学んだことを文章に書き、文集を作る。B(2)ウ</p> <hr/> <p>つかむ</p> <ol style="list-style-type: none"> これまでの学習や小学校生活を振り返って、思いを伝える文章を書くという学習課題を確かめ、学習の見通しを立てる。 <p>取り組む</p> <ol style="list-style-type: none"> 6年間の経験から、書くことを探し、どのような出来事を取り上げるかを考え、文章の構成を整理する。 考えた構成を基に、表現を工夫して文章を書く。 書いた文章を読み合って感想を交流し、文集にまとめる。 <p>振り返る</p> <ol style="list-style-type: none"> どのような工夫をして文章を書いたかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめて、これからの学習や生活に生かそうという意識を高める。 	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書いている。(1)ウ <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア ・「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしている。B(1)ウ ◎「書くこと」において、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。B(1)カ <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習を振り返って学習課題を明確にし、見通しを持って、進んで文章に対する感想や意見を伝え合いながら、文章を書こうとしている。 	

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
2	<p>聞いてほしい、この思い</p> <p>5時間(話聞5) 教科書:P.238～241</p> <p>【言葉の力】 思いが伝わるように話す</p> <hr/> <p>【既習事項との関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝えたいことが印象に残るように話す。(5年「伝えたい、心に残る言葉」) ・思いを伝える文章を書く。(6年『「卒業文集」を作ろう』) 	<p>●自分の思いが伝わるように、聞き手の興味・関心に応じて表現を工夫し、話の構成を考えて話すことができる。</p> <p>◇6年間で経験した出来事について考えたことをスピーチをする。</p> <hr/> <p>つかむ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 これまでの学習を振り返り、思いが伝わるようなスピーチをするという学習課題を確かめ、学習の見通しを立てる。 <p>取り組む</p> <ol style="list-style-type: none"> 2 話を伝える相手を決め、どんな思いを伝えるのかを考える。 3 スピーチの構成や話し方の工夫を考えて練習する。 4 スピーチをする。 <p>振り返る</p> <ol style="list-style-type: none"> 5 思いを伝えるためにどんな工夫をしてスピーチをしたかを振り返り、身につけた「言葉の力」がどんな場面に役立つかを考え、これからの学習に生かそうとする意識を高める。 	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉と書き言葉のそれぞれの特色や役割に気付いている。(1)イ <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」において、話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別しながら、話の構成を考えている。A(1)イ ◎「話すこと・聞くこと」において、相手や目的を意識して、自分の考えが伝わるように表現を工夫している。A(1)ウ <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習や経験を振り返って学習課題を明確にし、見通しを持って粘り強く自分の考えが伝わるような表現の工夫を考えて、スピーチをしようとしている。 	<p>・総合的な学習の時間の発表。</p>
3	<p>未来に向かって 君たちに伝えたいこと／ 春に</p> <p>4時間(読2書2) 教科書:P.242～255</p>	<p>●文章と詩を読んで、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。</p> <p>◇自分の感じたことを伝え合う。C(2)イ</p> <hr/> <p>つかむ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 これまでの学習を振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを立てる。 <p>取り組む</p> <ol style="list-style-type: none"> 2 「君たちに伝えたいこと」を読み、筆者のメッセージについて考え、考えたことを友達と話し合う。 3 「春に」を読み、作品からどのようなことを感じたり考えたりしたかを交流する。 <p>振り返る</p> <ol style="list-style-type: none"> 4 二つの作品を読んで考えたことをまとめて、単元の学習を振り返るとともに、一年間の学習を振り返って中学への意欲を高める。 	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読者として自分が思ったことや考えたことを踏まえて朗読している。(1)ケ <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章と詩を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。C(1)オ ◎「読むこと」において、文章と詩を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。C(1)カ ・「書くこと」において、事実と感想、意見とを区別して書くなどして、書き表し方を工夫している。B(1)ウ <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の経験や小学校生活を振り返って学習課題を確かめ、見通しを持って積極的に意見や感想を共有して伝え合おうとしている。 	